

2026 年 3 月改訂 1 版

日本標準商品分類番号 8797624

貯法 気密容器

承認指令書番号	農林水産省指令 2 動薬第 2210 号
販売開始	2022 年 5 月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

リンコサミド系抗菌剤  
要指示医薬品 指定医薬品

# ビルデンタマイシン<sup>®</sup> 50

## Virdentmycin<sup>®</sup> 50

ビルデンタマイシン<sup>®</sup> 50 はリンコサミド系抗生物質のクリンダマイシン塩酸塩を有効成分としています。ブドウ球菌、嫌気性菌に対して抗菌活性を有します。

### 【成分及び分量】

本剤 1 錠中 (約 200 mg)  
クリンダマイシン塩酸塩…………… 50.0 mg (力価)

### 【効能又は効果】

有効菌種：ブドウ球菌、ペプトストレプトコッカス、フソバクテリウム、バクテロイデス  
適応症：犬：歯周病

### 【用法及び用量】

本剤は、1 日 12 時間間隔で 2 回、1 回体重 1 kg あたりクリンダマイシンとして 5 mg (力価) を 5 ～ 10 日間経口投与する。  
犬：体重 2.5 kg あたり本品 1/4 錠を 12 時間ごとに経口投与する。

### 【使用上の注意】

#### (基本的事項)

- 守らなければならないこと  
(一般的注意)
  - ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。  
(取扱い及び廃棄のための注意)
  - ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
  - ・本剤の開封後は、気密容器に入れ、室温にて保存すること。
  - ・本剤の割錠時には、粉塵等を吸い込まないように注意すること。
  - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用に際して気を付けること  
(使用者に対する注意)
  - ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。  
(犬に関する注意)
  - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
  - ・投与開始後はブラッシング等歯肉縁上のプラークコントロールを行うことが望ましい。

### (専門的事項)

#### ① 対象動物の使用制限

- ・本剤は、犬以外の動物には使用しないこと。
- ・本剤は、過敏症を起こしたことがある犬には投与しないこと。
- ・本剤の使用により、まれにクロストリジウム属などの非感受性菌が異常増殖することがあるので、クリンダマイシンの消化管への作用に過敏な犬には本剤の投与を避けること。
- ・本剤は、幼若及び病中、回復期の犬、妊娠中並びに産前・産後の犬に投与しないこと。
- ・重度の代謝異常を伴って、腎障害及び肝障害を認める犬には慎重に投与し、治療中における血清中のクリンダマイシン量を検査すること。

#### ② 重要な基本的注意

- ・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。

#### ③ 相互作用

- ・本剤は、神経筋接合部遮断薬の作用を増強するので、併用を避けること。
- ・クリンダマイシンとクロラムフェニコール又はマクロライド系は 50S リボゾームサブユニットの作用部位において互いに拮抗するので、併用を避けること。

#### ④ 副作用

- ・本剤は、まれに過敏症反応を起こすことがあるので、観察を十分に行い、症状が現れた場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- ・本剤の投与により、食欲不振、嘔吐、軟便、下痢及び発疹を認めることがある。

#### ⑤ その他の注意

- ・本剤の投与前に外科的治療法を行うことにより、治療効果が高まることが確認されている。

### 【有効期間】

24 カ月

### 【包装】

10 錠 × 5 シート

### 【製品情報お問い合わせ先】

株式会社ビルバックジャパン  
〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-3-14  
TEL. 0120-550-700

添付文書情報はこちら



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

販売元



株式会社ビルバックジャパン

大阪市中央区淡路町1-3-14

製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都八王子市柵田町1211番地1